

令和7年3月 定例教育委員会会議録

〈 開会 10時00分 〉

開 催 日	令和7年3月27日（木）10時00分～12時00分		
開 催 場 所	半田市役所 会議室301・302		
出 席 委 員	教 育 長 榊原雅晃 委 員 新美大 委 員 桂 優子	委 員 堀崎隆資 委 員 久米宏和 委 員 正村日登美	
説 明 の た め 出席した職員	教 育 部 長 森 田 知 幸 主任指導主事 木 下 稔 章 給食センター所長 榊 原 秀 夫 スポーツ課長 加 藤 計 志 図 書 館 長 藤 井 寿 芳 新美南吉記念館長 遠 山 光 嗣	学校教育課長 内 藤 誠 指 導 主 事 高 下 隆 史 生涯学習課長 青 木 美 希 スポーツ課主幹 河 合 信 二 博 物 館 長 関 正 樹	
事 務 局	学校教育課総務担当主査 羽根 広		
報 告 事 項	■報告事項 (1) 令和7年3月半田市議会定例会の報告について (2) 令和7年度教育部予算及び主要事業の概要について (3) 寄附、後援願等について (4) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等について (5) 令和6年度退職管理職・教職員辞令伝達式及び令和7年度半田市教職員受入式等について (6) 令和7年度半田市立小中学校・幼稚園訪問実施計画(案)について (7) 令和7年度研究委嘱校等について (8) 令和7年度教職員の研修予定について (9) 令和7年度半田市学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について (10) 令和7年度地区公民館職員の委嘱について (11) 令和7年度地区公民館の臨時開館日・臨時休館日について (12) 新総合体育館基本構想(案)パブリックコメントの実施について (13) 令和7年度半田市弓道教室の開催について (14) はんだシティマラソン 2025 の協賛企業等の募集について (15) 令和7年度新美南吉記念館半田市民特別観覧券の発券及びはんだ市報への掲載について (16) 各種事業について ①「令和7年度前期分 講座・イベント情報誌」について ②「令和7年度ゲストティーチャー登録者リスト」について ③「ストーリーテリングボランティア養成講座」について ④「乳幼児向け読み聞かせボランティア養成講座」について ⑤亀崎図書館「音読教室はじめての一步」～新美南吉の世界～		

	⑥「第 40 回知多工芸展」について ⑦「陶芸作家の茶碗による呈茶会」について ⑧「旧中埜家住宅で組紐を体験しよう」について ⑨企画展 「児童雑誌『カシコイ小学生』と新美南吉」の開催について
各課事務連絡	学校教育課、新美南吉記念館

＜議事録＞

1. 前回の会議 録の承認	(事務局) 2月定例会の会議録について概要説明 → 承認
2. 教育長報告	(教育長) 2月13日、亀崎小学校改築ワークショップに参加してきた。15cm角のレンガ(粘土)に彫刻した。新しい学校の昇降口までのところにたくさん並べてレンガの道になるもの。半田市教育委員会として大切にしている元気、笑顔、優しさという言葉、小学校2年生の教室で子どもたちと一緒に楽しく彫ってきた。 2月20日、市議会定例会が始まった。一般質問は、教育委員会関係の質問は出なかった。市長の施政方針演説の中で、働く親を応援するための施策の一つとして、終業式に給食を提供することを明言された。関係者の評価は別れるところではあるが、市全体で取り組む「働く親を応援するまち」という重点施策の一環であること、一定数の親を支援する施策であることから、教育委員会としても前向きに捉えて協力していきたい。実施にあたっては、学校を通じて、関係者、保護者に理解を求めていき、実施後は効果測定を行って、よりよい施策の展開を図りたい。 3月7日、中学校卒業式。乙川中に行った。この会議でも度々話題になり各方面からも心配されてきた学校だったが、それを全く感じさせない厳粛な式だった。校長の式辞も、最初から最後まで子どもたちのほうを見て、心の込もった立派なものだった。厳粛に執り行うことができたことには様々な要因があるだろうが、大きくは先生方の努力、地域の方の助けのおかげだと思っている。乙川中学校は私が若い頃に赴任した学校であり、教育長になって初めて出席する式が乙川中学校となったことは感慨深い。すべての卒業生の前途に幸多かれと祈りたい。 3月13日、こどもサポート会議が開催された。前身は不登校対策協議会で、発足したのは30年前。半田市としても課題と認識して力を入れているが、不登校は増える一方である。また、社会の変化とともに原因も複雑化しており、対策は困難を極める。対策としては、愛知県の方針でもあるが、まずは一人を救う、そして新たな一人を出さない。これ

	を地道に進めていきたい。併せて、通いたくなる、勤めたくなる、魅力ある学校づくりも進めていかなければいけないという思いを強くした。 3月21日、功労者が88歳を迎えたときに授与される高齢者叙勲表彰として、加藤かず先生（元乙川東小学校長）の伝達表彰式を教育長室で行った。愛知県の女性役職者の草分け的な存在として活躍された。もう一人、同時期に勝寄威先生（元板山小学校長）も表彰対象となったが、都合により市役所には来られなかったため、後日、ご自宅にお届けした。 3月22日、貝殻忌の式典。委員の皆様にはご参列いただき感謝申し上げます。
3. ■報告事項 1) 令和7年3月半田市議会定例会の報告	（教育部長） 3月の定例会において、一般質問はなかったため、代表質問のうち教育委員会に関する質問について報告する。なお、代表質問は、市長の市政方針に対して会派ごとに質問するものであり、答弁はすべて市長が行った。 志民ネットの中村和也議員からは、主題1「令和7年度市長施政方針について」、要旨6「主な大型プロジェクト等について」、質問7「新総合体育館の建設によって、どのように地域の賑わいが生まれると考えているのか、その点について具体的な将来ビジョンをお聞かせください。」、質問8「人口減少社会に対応する中で、各市町が独自に体育館を維持管理することの非効率性を感じています。近隣市町が協力して広域で検討する余地はないのか、見解をお聞かせください。」、質問9「体育館を建設するだけで市民が自然に健康になるわけではないと考えます。市民の健康をどのように増進し、交流促進するビジョンなのか、お考えをお聞かせください。」と質問があった。 答弁としては、ご質問の7点目から9点目の新総合体育館の建設について、初めにご質問の8点目の「近隣市町との広域での建設」についてお答えする。広域での建設については、令和元年に知多管内の市町に対し意向調査を行い、協議の参加意向があった1市3町と担当者レベルの「総合体育館広域建設研究会」を発足し、広域で建設することのメリットとデメリットについて意見交換をするなど協議を進めてきた。その協議の結果、他の公共施設の整備計画や財政的な課題など各市町の様々な実情等も踏まえ、総合的に判断し、令和4年2月に、広域での建設は困難であるとの結論に至った。 次に、ご質問の7点目の「どのように地域の賑わいが生まれるのか。」と9点目の「市民の健康をどのように増進し、交流促進するのか。」については関連があるので一括してお答えする。 新総合体育館の建設の際には、民間活力の導入を想定している。民間事業者のノウハウを活かした運営により、様々なイベントを開催することで、まずは体育館から周辺施設への来訪者の増加に繋げ、いずれは周辺地域の賑わいを生み出せると考えている。また、イベントを開催する際には幅広い年齢層や様々な目的を持った方が参加できるような内容と

することで、スポーツを中心とした参加者のつながりを創出し、交流促進を図るとともに、市民がスポーツに触れる機会を増やすことで健康増進に繋げていくと説明した。

創造みらい半田の芳金秀展議員からは、主題1「令和7年度市長施政方針について」、要旨2「ひとづくりについて」、質問1「幸せになるための教育を進める上で子どもたちだけでなく、指導する教職員も自分の幸せについて考える取り組みは進めていますか。」と質問があった。

答弁としては、幸せになるための教育は、子どもたちが幸せについて考え、「自らの価値観で主体的に物事を判断していく力」を育むことを目指す取組である。当然、これを進める教職員が、まずは自分やみんなの幸せとは何か、自分やみんなが幸せになるためにはどうしたらいいか、などについて主体的に考えてもらう必要がある。そのため、教育委員会を通じて、校長会などの各種会議や学校訪問などの機会を捉え、校長以下、多くの教職員にこのことを説明し、「幸せ」について考え、教職員同士で語り合うことなどを促してきた。今後も引き続き、学校現場への浸透・定着を図っていくと説明した。

(桂委員)

幸せ教育について。学校訪問などの機会に幸せ教育のことを意識的に話すようにしているが、教職員同士で語り合う機会を設けているというような報告があれば教えてほしい。

(主任指導主事)

各校に依頼して現場の取組の報告は求めているが、年度当初にこちらから会議等で話をする中では、アイスブレイクのテーマとしてあげてもらったり、日常的に話をする場を持ったりするなど活用してくださいと伝えている。

少経験者の自主研修では、幸せ教育をテーマに話し合いの場を設けた。参加者からは、「話したことで理解が深まった」、「学校でもこういう場があるといい」という声があったので、来年度以降も各学校で日常的にテーマにするよう促すなど積極的に進めていきたい。

(桂委員)

自主研修に参加された方から校長会議等で共有される機会はあったか。

(主任指導主事)

今年度はそういった報告はなかった。来年度以降、進めていきたい。

(教育長)

板書の写真など、集約しているものもある。

	(桂委員) データを自分で閲覧するとなると後回しになってしまうこともあると思うが、その場で話題になれば気づきになる。データもいいが、それを見るところまでたどり着かないことも多いので、話題にできる機会があるといい。 (教育長) 桂委員のご指摘通りの面があると思う。市長の答弁でも「今後も引き続き学校現場への浸透、定着を図っていく」と結んでいるとおり、課題という認識はある。 4月1日の教職員受入式での教育長講話でも、幸せ教育を紹介する。
2) 令和7年度 教育部予算及び 主要事業の概要	(学校教育課長) 教育部が所管する令和7年度予算について、先ず、学校教育課の主な歳出について説明する。 学校生活支援事業 173,503 千円は、各学校に学校生活支援員や特別支援学級補助員などを配置し、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう支援するもの。 共に学ぶ教育環境整備事業 28,783 千円は、看護師や介助員を配置・派遣等することで、医療的ケア児等とその他の児童生徒が共に学ぶことのできる教育環境を整備するもので、令和7年度はバリアフリー工事として、板山小学校に多目的トイレを設置する。 いじめや不登校等対策事業 74,608 千円は、教育支援センターの設置運営、スクールカウンセラー、メンタルフレンド、心の教室相談員、スクールソーシャルワーカーの派遣・配置等により、いじめや不登校等の対策を推進する。 小中学校防犯カメラ整備事業ほか 11,735 千円は、不審者等の進入抑制などのため、校内及び園内各所へ防犯カメラを整備するもので、令和7年度は記載の学校及び幼稚園に設置する。 亀崎小学校改築等事業 2,736,761 千円は、老朽化した校舎や体育館の改築等工事を行うもので、令和7年度は新校舎の建設及び体育館改築に係る設計業務を進める。 乙川東小学校改築等事業 41,840 千円は、老朽化した校舎の改築等工事を行うもので、令和7年度は前年度に引き続き、児童、保護者、学校、地元住民等とのワークショップを開催しながら、設計業務を進める。 (給食センター所長) 「学校給食 食材購入事業」は、給食用食材を購入するもので、食育の観点から可能な限り地産地消の推進を図っている。事業費は 609,024 千円。 近年の物価高騰に対応するため給食費を5年ぶりに改定するが、その値上げ分については、子育て支援を目的に7年度は全額公費負担する。

また、幼稚園給食についても同様の目的から給食費の一部を公費負担する。

「学校徴収金管理システム保守事業」は、学校教職員の事務負担の軽減を図ることを目的に、これまで学校が行っていた給食費や教材費などの徴収管理事務を市に移管して行うもので、令和6年9月から運用を開始している。令和7年度においては、令和5年度に構築したシステムを保守・運用させるために必要な費用を計上しており、事業費は4,261千円。

「市立幼稚園給食提供事業」は、毎日、お弁当を作る保護者の負担軽減を目的に、半田市内の公立幼稚園5園を対象に給食を提供するもので、令和7年度から新たに開始する。食数は、教諭等の分も含め1日約400食を予定している。事業費は、8,470千円で、各幼稚園への配送業務委託料を計上している。学校給食のようなトラックではなく、ワンボックス型のバン2台で配送する。

また、令和7年度に開校する「半田高校附属中学校」にも給食を提供していくので、併せて説明する。令和7年度は1学年2クラス分、教職員の分も含め、1日約90食を予定している。半田高校附属中学校にかかる経費については、委託金として全額、愛知県に負担してもらうこととなっている。

（生涯学習課長）

音楽のあるまちづくり事業11,823千円は、セントラル愛知交響楽団や市内楽器店・音楽関係者等と連携し、子どもから大人まで多様な音楽に触れられる機会を創出するもの。これまでやってきた中学校吹奏楽部アドバイザー制度については活用が極めて少なかったため来年度から廃止し、公民館など地域での巡回公演を増やして音楽を身近に感じていただければと思っている。昨年度から開催し大好評であった音楽マルシェについては、協力的な方々と連携して開催し、子どもたちが音楽に興味を持つきっかけに繋がっていききたい。

文化芸術普及推進事業5,075千円は、まちのいたるところ、いたる場面で文化芸術に慣れ親しめる「まちなかでアート」を始めとした事業を展開するもの。特に「はんだアールブリュット展」においては、サテライト会場を継続しつつ、ココロリンなど中心市街地周辺でのワークショップを開催する。

青少年健全育成事業2,964千円は、青少年問題協議会廃止に伴い、「明るい青少年都市推進費」を廃止し、青少年健全育成活動補助金及び半田市少年愛護センター関連経費と「二十歳の集い運営事業」とを統合し、「青少年健全育成事業」を新設するもの。

文化・スポーツを活用したこどもの居場所づくり事業858千円は、放課後の学校の中で、普段の授業では学ぶことのできないアートやスポーツを体験することで、自分の「好き」「やってみたい」を見つけられるよう後押しし、社会教育の視点に立ったこどもの居場所づくりにつなげるもの。生涯学習課はガラスアートとデジタルアート講座を開催し、スポ

	ーツ課は名古屋オーシャンズによるフットサル体験会を開催する。予算内訳は生涯学習課分 666 千円、スポーツ課分 192 千円となっている。 地区公民館等設備適正化事業 2, 252 千円は、地区公民館 13 館にパソコンを配備し、管理運營業務の効率化を図るもの。 (スポーツ課長) 地域スポーツ・文化芸術活動支援事業 17, 489 千円は、令和 6 年度から始まった中学校部活動改革に伴い、生徒が地域でスポーツ・文化芸術活動を継続できる環境を構築するなどを目的とした受入先団体の体制整備に要する費用に対する補助を継続実施するもの。 どこでもスポーツ推進事業 1, 526 千円は、スポーツ推進計画の基本理念のひとつである『どこでもスポーツが楽しめるように』の推進のため、令和 7 年度はジョギングとゴミ拾いを掛け合わせた「プロギング」を水辺クリーンアップ大作戦と同時開催する予定。 半田福祉ふれあいプール管理運営事業 144, 179 千円は、親子や友達と水に親しむ場として、また、水泳や水中ウォーキングなどスポーツをする場として、誰もが安全・快適に利用できるよう施設の維持管理をする。 新総合体育館建設事業 22, 374 千円は、令和 7 年度は策定済みの基本構想を基に基本計画を策定する。その中で建物の配置や平面計画のほか、より良い市民サービスの実現を目的に PPP/PFI 導入可能性調査を実施し、最適な事業手法の導入を検討する。 (図書館長) 「図書館一般事務」は、「知識の拠点」として図書を運営するため、施設の維持管理及び利用者サービス等を提供する。新規事業として、備品購入費 2, 478 千円については、公用車の買い替えとして電気自動車（軽自動車）を購入する。 「図書館資料整備事業」は、多様な利用者にとって魅力ある図書館資料及び電子書籍を整備し、市民の学びを応援する。主なものとして、消耗品費 28, 782 千円については、本館・分館に整備する図書資料、公民館に設置する貸出文庫と小中学校及び幼稚園・保育園等に巡回貸出する図書資料を購入する。 「図書館運営基本計画策定事業」は、社会や市民ニーズの多様化に対応し、図書館事業・サービスのさらなる充実と向上を図るため、中長期的な視点で、今後の図書館運営の在り方の検討を進め、運営方針や施策の方向性を定める「図書館運営基本計画」を策定する。計画は新規に策定するもので、計画期間は 10 年間である。主なものとして、図書館運営基本計画策定支援委託料 3, 311 千円については、情報収集能力の高い計画策定支援業者に計画策定の基礎調査としてアンケート設計・分析、課題抽出等を委託する。 (博物館長)
--	---

	文化財等公開活用事業 3,256 千円は、本物の山車の展示や博物館が収蔵している未公開資料等を活用し市民の文化意識を高めるもので、データ化した収蔵資料の活用や文化財の担い手による講演等を行う。また、令和 7 年度の山車の展示は、乙川南山の八幡車、岩滑新田平井組の神明車、岩滑新田奥組の旭車を予定している。 企画展開催事業 1,999 千円は、令和 7 年度は、夏の企画展として、「終戦 80 年半田の戦争記録」を開催するほか、館蔵品展として、半田出身で明治時代半ばから終わりにかけて一世を風靡した作家小栗風葉の生誕 150 年記念展、毎年開催している「知多工芸展」や「博物館友の会合同展」などを開催していく。 (新美南吉記念館長) 「新美南吉童話賞事業」3,261 千円は、南吉のふるさと半田の P R と児童文学の振興のため、全国に向けて創作童話を募集するもの。今年度、応募者用ノベルティグッズのどん吉くん消しゴムをふるさと納税を原資に 5 年分作成したことにより、来年度は作る必要がないので消耗品費が 675 千円減になっている。 「企画展開催事業」3,288 千円は、記念館へ繰り返し来館してもらうため、多様な視点から南吉を紹介する企画展を年間通じて開催するもの。来年度の展示予定は、春に南吉の幼年童話を掲載した東京の学年誌『カシコイ小学生』についての企画展、夏に今年 100 歳になる安城高等女学校の教え子から見た南吉の特別展、秋には元市議で南吉とも交流があった石垣藤九郎さんが描いた絵から昔の岩滑の様子を紹介する企画展など、多様なテーマで開催する。 ≪学校教育課≫ (堀崎委員) 学校教育課のいじめや不登校対策事業について。令和 6 年度から S S W が 3 名に増員され現場は感謝しているが、先日のこどもサポート会議でも中学校区に 1 名は必要という話があった。令和 8 年度にはさらなる増員をお願いしたい。 (学校教育課長) S S W の人員増については課内でも議論した。令和 8 年度の増員について約束はできないが、引き続き議論していく。今年度に増員した 2 名は、経験も浅いので、まずはその 2 名の質の向上、成長に期待したい。 (桂委員) 学校教育課の乙川東小学校改築事業について。ワークショップの雰囲気はどうだったか。 (学校教育課長) 5 回開催したが、いずれも和やかな雰囲気で実施している。小グループ
--	--

	プに分かれて意見交換して、会の終わりに各グループの意見を共有する流れ。子どもの居場所や地域交流施設も含めて「新しい学校にどのような機能がほしいか」、「乙川東小学校のいいところを見つけよう」などをテーマにして開催した。今年度の成果としては、校舎の配置案を2つ設計事務所に作成してもらった。7年度も引き続きワークショップを続けていく。ホームページにも掲載しているので、時間があればご覧いただきたい。 (桂委員) どのような人が参加しているのか。 (学校教育課長) 乙川東小学校区の地域住民の方、自治区役員、子どもとその保護者、学童関係者、学校関係者や行政。 (桂委員) いろいろな立場の人が参加すると、それぞれの視点で意見が出て新たな気づきになる。より多くの人に参加してもらえよう浸透していくといい。 (久米委員) 地域の方への案内はどうしているのか。 (学校教育課長) 回覧板やホームページなどで案内している。 «スポーツ課» (久米委員) スポーツ課の半田福祉ふれあいプール管理運営事業について。今年度の実績はどの程度を見込んでいるか。利用者を増やすための取組みは何か実施しているか。 (スポーツ課主幹) 2, 3月は施設改修を実施しており休館しているが、1月末までで9万2千人の利用があった。年間で見ると、2か月少ない中では増加傾向にあると分析している。取組みについては、受託業者と月例会議で議論する中で、例えば季節に応じてクリスマスやハロウィンなどにイベントを実施した。課題は、情報発信。イベント目当てで来るというより、たまたま来たらイベントをやっていたと知る方が多かったと思う。 4月1日からリニューアルしてオープンするので、集客に努めたい。
--	---

	例えば、学校と保護者との連携アプリ「tetoru」を活用することにより、情報発信を行うこととしている。 (久米委員) この実績は、小学生が体育の授業で利用した分も含めているのか。 (スポーツ課主幹) それは含んでいない。 (久米委員) 他市町の施設に行く機会があるが、いろいろと工夫している。プールサイドに保護者用の椅子やテーブルがあったり、飲食できるようになっていたりする。そういった工夫があっても面白い。 (スポーツ課主幹) 飲食については、衛生上クリアできるか含めて検討したい。 (新美委員) この実績は、プールの利用者のみか。トレーニング施設の利用も含まれているのか。 (スポーツ課主幹) トレーニング施設の利用も含んで一体で計上しており、割合は集計していない。 (新美委員) 武豊町に新しいプールができた中で、よく頑張ってるなという印象。武豊町のプールは新しくて、きれいで、22時まで開いていることもあり、そちらに人が流れているという話も聞く。なんとか他市町に負けないう頑張ってもらいたい。 (スポーツ課主幹) 武豊町のプールにも行ってみたが、学校のプール利用を目的に作られた施設のような印象を受けた。半田ふれあいプールには、ウォーキングコースもあり、大きなスライダーもある。決して負けてないと自負している。今後も魅力を高めながら、広く発信していきたい。 ≪図書館≫ (桂委員) 新規購入件数の推移の表を見ると冊数がずいぶん減っているが、理由
--	--

	を教えてほしい。 (図書館長) 冊数減の主な理由は、本の単価の上昇によるもの。本は単価が定まっていけないので難しい。現状の予算計上の方法として、全体の金額をしっかり確保している。全体の予算規模としては、半田市は知多半島ではトップクラス。電子図書もやっていることは、半田市の図書館の強みである。 (新美委員) 世の中でも本の売れ行きそのものがだいぶ下がっている。電子図書を令和２年度に導入し、今後は電子図書が伸びていくと思っていたが、書籍との比率は思ったより伸びてない。実態はどうなのか。 (図書館長) 電子書籍にはいろいろな販売形態がある。購入すると永年で公開できるもの、数年で終わってしまうもの、１年限りのものなどがある。ライセンスを買うようなイメージ。書籍は購入するとスペースがある限り保管できるが、電子書籍は同じようにはいかないため、比率が伸びていかない。主観的なところもあるが、出版社も書籍に重きを置いていて、電子はまだ十分ではないと感じる。特に図書館に対する価格設定も高い傾向にあると感じる。しばらくは一定の電子書籍の数、４,０００～５,０００冊の中で選定しながら充実を図っていきたい。 ≪新美南吉記念館≫ (堀崎委員) 以前あるテレビ番組で、新美南吉の命日をなんと呼ぶかという問題があり、４択だったにも関わらず正解率が１０％程度で残念だった。毎年、様々な企画展を開催しているが、たまには予算を増額して有名人を呼んだりできるといい。文豪とアルケミストの企画は良かった。 (新美南吉記念館長) 文豪とアルケミストはそれなりの予算を計上して貝殻忌の式典に有名な声優に来ていただき朗読していただいた。マスコミにも積極的に情報提供しているが、反応があるときとないときがある。文豪とアルケミストは、反応してもらえと思ったが、思いのほかなかった。マスコミへの推し方の工夫がいるとは感じている。
３) 寄附、後援 願等	(学校教育課長) ・寄附 ４件

	・後援名義使用許可 26件
4) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等	(指導主事) 令和7年2月8日～令和7年3月21日の交通事故・問題行動等について。 交通事故：0件 問題行動(被害)等：6件(遡っての報告含む) 1月20日(月) 1件 2月 6日(木) 1件 2月 7日(金) 1件 2月14日(金) 1件 2月20日(木) 1件 2月27日(木) 1件 交通事故以外の事故：2件 3月 6日(木) 1件 3月10日(月) 1件 学校等被害等：0件 不審者情報：2件 2月17日(月) 1件 2月27日(木) 1件
5) 令和6年度退職管理職・教職員辞令伝達式及び令和7年度半田市教職員受入式等	(主任指導主事) 令和6年度、退職管理職・教職員、辞令伝達式を3月31日(月)8時30分から行う。まず管理職の伝達式を教育長室にて行う。対象となる管理職は半田小学校の幾世校長始め5名。なお、教育委員会からの出席者は、教育長、部長、学校教育課長、主任指導主事の4名。 一般教職員の辞令伝達式については、大会議室にて行う。対象となる教職員は、岩滑小学校の榊原教諭始め8名。教育委員会からの出席者は、先程と同じ、教育長始め4名。 買上採用等教職員の退職辞令伝達式は、12時45分から教育長室にて行う。対象となる教職員は、さくら小学校の岡戸教諭1名。岡戸教諭は、県費職員の身分を退職し、4月より半田市教育委員会買上指導主事として採用となるため、伝達式にて退職辞令を手交するもの。教育委員会からの出席者は、先程と同じ、教育長始め4名。 「令和7年度管理職発令通知式」については、4月1日(火)10時30分から教育長室で行う。対象となる管理職は、半田小学校の尾崎校長始め校長5名と、教頭1名、主幹教諭1名、事務主査3名。この式には、教育委員の皆様にもご出席をいただく。 その後の教職員受入式については、11時から大会議室で行う。この式についても教育委員の皆様にもご出席をいただく。式の流れについては、市民憲章の唱和に続いて、新転任者を一人ずつ呼名して紹介する。 「教育委員会式辞」については、教育委員の代表の方に式辞をお願いしたい。来賓祝辞では、市長よりお言葉をいただき、その後、受入教職員代表、さくら小学校の猪飼教諭が代表で言葉を述べる。来賓・事務局職

	員紹介では、市長、教育長、教育委員の皆様、部長、学校教育課長、指導主事の流れて主任指導主事が紹介をする。学校紹介は、校長に自己紹介をしていただく。式終了後に、教育長より教職員に向けた講話を行う。 (教育長) 教育委員会式辞を今回から再開する。職務代理の堀崎委員にお願いする。
6) 令和7年度 半田市立小中学校・幼稚園訪問 実施計画(案)	(主任指導主事) 実施日時順、学校・園の順に並んだものを用意した。基本的には、昨年度、訪問された学校や幼稚園を避けて、計画を立てさせていただいた。また、ここ数年の資料を見て、しばらく訪問されていない学校を意識して入れさせていただいた。なるべく連続した週に訪問していただくことを避けるなど、配慮させていただいたつもりだが、教育委員の皆様の予定や連続した日程の不都合などあれば、主任指導主事まで連絡ください。 なお、来年度も、学校教育課の職員1名も学校を訪問するようにし、教育現場の状況を把握し、職務に生かせるようにしたいと考えている。また、来年度は、常滑市からの応援要請があったので、主任指導主事が常滑東小学校へ訪問する予定となっている。
7) 令和7年度 研究委嘱校等	(主任指導主事) 資料にあるように、国から1件、県から3件、市から6件の研究委嘱があり、各学校にて取り組んでいただく。また、企業と連携した環境学習についても下段に示してある通り行う予定。 (新美委員) 乙川中学校は学校給食優良学校 文部科学大臣表彰とあるが、表彰されることが決まっているのか。 (主任指導主事) 令和6年度に選定を受けて、2か年に渡り実施するもの。表彰を受ける際に、研究の内容等を示すことになっている。
8) 令和7年度 教職員の研修予定	(主任指導主事) 主な研修予定1から5まで示してある。 1のパソコン基本研修会は本年度より録画視聴の形に変更した。 2は不登校対策事業の一環として実施する。この研修を受けた後、各校でQUテストを実施する。 3は保護司会との共催で実施する講演会。國學院大學の鈴木みゆき教授をお迎えし、幼児教育に視点をあてて講演していただく。なお、視点の中心は幼児教育だが、小中学校の教育にも大きく関わる内容となるので、幅広い学びが得られるものと考えている。

	4は半田市内の初任者を対象に、初任研の一環として実施する。 5については、例年、夏に市内教職員が一堂に会する研修会等を行っている。令和5年度は講演会、令和6年度は研修会（講演会はイレギュラー）を行った。講演会、研修会、実践発表会を3年間でローテーションして進めており、令和7年度は市内全校と半田幼稚園が実践発表を行う。会場は雁宿小学校・半田中学校を使用する予定。 （桂委員） Q Uテストについて。クラスや個々の傾向が出て、その分析結果が生かされているとのことだったが、それにも関わらず不登校が増え続けているのか。Q Uテストの分析結果が生かされて、対策をとれている子もいるのか。 （指導主事） 分析が出ているのはテストを実施している小4，中1，中2の3学年のみという前提。不登校のきっかけになりやすい学年に絞って実施している。不登校は小4、中2が一番増え、人数としては中1が一番多い。年に2回テストして、アドバイザーからの意見を学級経営に生かすことで集団としての居心地の良さを高めたりする。子どもが先生、クラスに対してどう思っているかなどの傾向が出る。何かあったときに、このテストの回答を踏まえてスクールカウンセラー等とも連携して対策がとれた例はある。 （桂委員） 対象を5，6年生にも広げる意向はあるか。 （指導主事） 学校からの希望はあるが、予算のこともあり本当に何がいいのか検討段階にある。中1～3で実施していたり、小5でやってた時期もある。毎年検証し、見直していく必要はあると思っている。
9) 令和7年度 半田市学校医・ 学校歯科医・学 校薬剤師の委嘱	（学校教育課長） 令和7年度の学校医等は、資料のとおりとなる。それぞれ、医師会等から推薦された方で、教育委員会から委嘱をする。資料の網掛け部分が前年度からの変更箇所となる。
10) 令和7年度 地区公民館職員 の委嘱	（生涯学習課長） 地区公民館職員は、資料のとおりとなる。選任に当たっては、地域の公民館運営委員会などからご意見をいただいている。新規で委嘱させていただく方は網掛けしている。
11) 令和7年度 地区公民館の 臨時開館日・臨	（生涯学習課長） 公民館の休館日は、公民館条例施行規則によって、年末年始および月曜日月曜日の祝日のときはその翌日とすると定めている。そのような中

時休館日	で、地域の特性に合わせ、月曜日以外を休館日としたり、地域の行事に合わせて臨時の開館もしくは休館を設定したりと柔軟な運用を行っている。 令和7年度も平地、岩滑、協和、成岩の四つの公民館で定例的な休館日を変更する。資料の表ではその他の臨時休館日、開館日を記載している。
12) 新総合体育館基本構想(案)パブリックコメントの実施	(スポーツ課長) 今年度、策定していた基本構想の案ができあがったので、概要版にて説明する。背景は、現状の体育館の課題を整理したうえで、整備候補地を設定し、新総合体育館の基本的な在り方をまとめたもの。 候補地のポイントは3つ。基本コンセプトにあるとおり「賑わい・交流・つながる」スポーツの活動拠点として、①誰もが安心して利用できる、②長期的にスポーツ活動を支え、地域に貢献する施設運営、③「する」「見る」「支える」「知る」スポーツの活動拠点。 施設の整備方針は基本コンセプトを元に定めているが、詳細は、令和7年度に策定する基本計画で決めていく。維持管理運営の基本的な考え方は、官民連携手法、いわゆるPFI等を運営体制に導入していきたい。施設規模は、半田祭や郡大会など知多半島圏内の屋内競技大会が開催できる規模を予定している。メインアリーナは諸室を含めて概ね9,000㎡程度を想定している。運営を担う事業者の提案によっては施設規模が変更する可能性がある。建設予定地は、半田びよログスポーツパークと半田市民病院跡地の2か所を客観的に点数化して総合的に比較した結果、将来的な敷地内の施設拡張や複数施設の一体的運営によるスケールメリットが発揮しやすい半田びよログスポーツパーク敷地内とした。 基本構想の策定に当たっては、市民アンケート、ワークショップ、スポーツ団体へのヒアリング、運営事業者とのサウンディング調査等を行った。敷地内のどこに建てるかは現時点で3案ある。令和7年度の基本計画で決定し、詳細をお示ししたい。 基本構想は、令和7年4月1日から4月30日までパブリックコメントを実施し、広く市民の皆様からの意見を受け付け、対応していく。
13) 令和7年度半田市弓道教室の開催	(スポーツ課長) 毎年開催しているもので、半田市弓道協会のご協力をいただき中学生以上の初心者を対象に5月から6月にかけて12回、半田市の弓道場で実施する。弓道場は臨海公園のテニスコートの隣にある。定員は20名、受講料は保険料込みで2,400円。 4月4日から申込みを受け付ける。市報4月号、ホームページ、インスタグラム等でも案内する。
14) はんだシティマラソン2025の協賛企業等の募集	(スポーツ課長) 毎年11月の第1日曜日、来年度は11月2日に、はんだスポーツの日のイベントの一つとして開催するはんだシティマラソンの協賛企業の募集。協賛方法は、現金または物品。協賛特典は、パンフレット等に企

	業名を広告掲載するAコース、当日にのぼり旗やバナー広告を設置できるBコース、チラシやクーポン券をパンフレットに入れ込むことができるCコース。多くの企業に協賛いただけるようホームページ等で募集をしていく。 なお、令和6年度は23社から55万円の現金寄附、物品はミツカン、コロナワールド、中埜酒造等5社から協賛いただいた。
15) 令和7年度新美南吉記念館半田市民特別観覧券の発券及びはんだ市報への掲載	(新美南吉記念館長) 令和7年度新美南吉記念館の市民特別観覧券発行について報告する。新美南吉記念館には全国からお客様が来られるが、半田市民の来館が全体の1割程度に留まっているのが課題となっている。そこで、少しでも市民の来館者数を増やして南吉を改めて知っていただき、半田の誇りとして市民からも発信していただくため、半田市使用料条例第6条の規定を準用し、市民特別観覧券を発行する。 具体的には、1枚で2名まで無料で観覧できる券2枚を、はんだ市報4月号に掲載する。利用者数は年々増えていて昨年度は596人、今年度は2月末までで611人。
16) 各種事業について ①「令和7年度前期分 講座・イベント情報誌」 ②「令和7年度ゲストティーチャー登録者リスト」	(生涯学習課長) ①各種講座やイベントについて、各課等が開催するものを取りまとめたもの。HP、SNSなどで広報していく。 ②ゲストティーチャーの登録者リストは大幅にリニューアルした。今までは、一覧が並んだリストであり手にとって見てもらえていなかった。もっと皆様に見てもらって、学びたい、やってみたいと思ってもらえるように、生涯学習課がお勧めするティーチャーや講座をピックアップして見開きで掲載した。裏表紙も、皆様にとって刺激になるよう大幅にリニューアルした。社会的に注目されていること、市が推進している施策や事業に絡んだ内容を掲載した。
③「ストーリーテリングボランティア養成講座」 ④「乳幼児向け読み聞かせボランティア養成講座」 ⑤ 亀崎図書館「音読教室はじめての一步」～新美南吉の世界～	(図書館長) ③④図書館でボランティア活動いただいている方々をそれぞれ講師に招いて、新たな仲間を増やしていこうとするもの。詳細は資料のとおり。 ⑤ 亀崎図書館の音読教室。毎年恒例で開催しているものだが、今回は、はじめての一步として新美南吉の世界に触れながら音読するというこで資料のとおり開催させていただく。
⑥「第40回知多工芸展」	(博物館長) ⑥「第40回 知多工芸展」は毎年開催しているもので、令和7年度

⑦「陶芸作家の茶碗による呈茶会」 ⑧「旧中埜家住宅で組紐を体験しよう」	は4月19日（土）から6月1日（日）の間に、博物館の1階展示コーナーと2階特別展示室にて開催する。陶芸や陶塑（とうそ）人形（にんぎょう）・染織（せんしょく）など知多半島で活躍する工芸作家21名の作品を展示する。 ⑦知多工芸展関連イベント「陶芸作家の茶碗による呈（てい）茶会（ちやかい）」は、知多工芸展に出品している陶芸作家が制作した茶碗を使い、お茶やお菓子をお楽しみいただけるもの。知多工芸展が第40回目を迎えることを機に、全知多茶道連盟の皆様の協力のもと開催するもので、呈茶会はコロナ禍で一旦中断されていたが、今回6年ぶりに復活するもの。開催日時・時間・料金等は資料に記載のとおり。 ⑧「旧中埜家住宅で組紐（くみひも）を体験しよう」は令和4年度から開催している人気の講座で、重要文化財旧中埜家住宅を会場に、日本の伝統工芸品である「組紐」を体験することができるもの。講師に桐華きもの学院の花井佐知子（はなはいさちこ）先生を迎え、組紐の手順を丁寧に教えていただきながら、20cm 程のストラップをつくる内容となっている。開催日時・定員・参加費等は資料に記載のとおり。
⑨企画展 「児童雑誌『カシコイ小学生』と新美南吉」の開催	（新美南吉記念館長） ⑨4月12日から企画展「『カシコイ小学生』と新美南吉」を開催する。「カシコイ小学生」というのは、戦前、精文館という東京の出版社から発行されていた学年誌である。まだ東京外語の学生だったころの南吉の幼年童話を数多く載せているが、国会図書館にも歯抜けでしか残っておらず、全貌がわからない幻の雑誌だった。 記念館では、創業者一族の子孫の方と共に調査を進めてきて、これまでにいろいろなことが分かってきたので、今回の企画展で紹介するもの。また、今回は南吉作品に初めて挿絵を描いてくれたプロの画家、前島ともが手がけた『カシコイ小学生』のための挿絵原画も15点展示する。会期は6月29日までで、チラシのとおり会期中には創業者一族の子孫を招いてのトークイベントも行う。
■各課からの事務連絡 （学校教育課）	（学校教育課長） 令和7年度の年間行事予定について。教育長、教育委員の皆様に出席いただく行事等の一覧をお配りしたので、ご確認いただきたい。
（新美南吉記念館）	（新美南吉記念館長） 記念館だより228号を発行した。2月に行った新美南吉童話賞表彰式の様子や受賞者へのインタビューなどを掲載している。なお、先回の定例教育委員会でも報告したとおり、開館以来30年続けて来た「記念館だより」だが、これで終刊となる。今後は公式 note でイベントレポートや学芸コラムを発信していくので、そちらをご覧ください。

次回開催等	(事務局) 4月定例会教育委員会 日時：4月23日(水) 10時00分～ 場所：半田市役所4階 庁議室 (教育長) 3月定例会教育委員会を終了する。
-------	--

〈 閉会 12時00分 〉